いよいよ総選挙 私が期待すること

衆議院選挙（総選挙）が間近に迫っています。コロナ禍にもかかわらず、東京オリパラを強行し、感染拡大を招いた菅首相は自民党総裁選不出馬を表明し、政権を投げ出しました。私たち建設従事者、その家族の要求実現にとって今回の総選挙は大切なものです。仲間に「いよいよ総選挙 私が期待すること」というテーマで寄稿してもらいました。

自宅療養と患者を見捨て 絶対に許せません

相良さん

【豊島・主婦・相良眞理記】コロナ禍で今のままの政治ではダメだと気づいた人が多いと思います。コロナに感染しても病院や宿泊施設にも入れず、自宅療養という見放された状態を誰が正常と思いますか。東京都には自宅療養者が1万7603人（9月4日現在）もいるのです。

今春、コロナで感染者が増えて病床が足りないと言っていた時に、「病床削減・病院統廃合法」の医療法改正法案が参議院本会議で与党などの賛成多数で可決、成立したのです。また、約30年前には852カ所あった保健所も47カ所に削減されていて、今回のコロナパンデミックでは、保健所も病院も数が足りなくなり、ますます感染が拡大したのだと思います。

総選挙で世の中を変えましょう。どうすれば変えられるか。私は自分の思っていることを友人・知人に話します。

主権者の責任果たし 棄権やめましょう

竹達さん

【荒川・大工・竹達浩通信員】コロナ感染が拡大し収束の見通しがついていません。コロナ禍は発生当初から世界的に情報がさくそうし、感染と混乱が拡大しました。安倍政権は五輪開催を国政の第一義的政策に据え、PCR検査を抑制して感染の可視化を妨げたとも言われています。

初動の感染防止対策の怠慢が日本の経済を疲弊させ、一部の富裕層を除き大多数の国民が困難にほんろうされています。そのような状況で政権政党は国会を閉じて首班指名の派閥陣取り合戦に余念がなく、国民はかやの外です。

また、今年は任期満了に伴う衆議院議員選挙があります。自公連立政権の歴史は民主主義の崩壊の歴史です。来る選挙は「日本の民主主義の回復と、真価を問う選挙」です。マッカーサー語録の中で「我々が45歳とするならば、日本人は12歳の少年のようなものである」とあります。今こそ国民は12歳から脱皮し主権者の責任を果たし、民主主義回復を真剣に考える我々の代表を選ぶために棄権しないことを望みます。

76年前の悲劇、コロナ禍 何より命守ること

浜崎さん

【中野・畳・浜崎菜央子通信員】私が強く思うのは、命を守ることです。76年前の原子爆弾の悲劇。一瞬にしてたくさんの人の命が奪われただけではなく、一生背負う病気と心に傷をも残しました。

そして今。感染症の拡大で医療がひっ迫し、一般患者の治療や手術もできない状況です。高齢者や一人暮らしの孤独死、自宅療養での死、感染した妊婦さんの死…。悲劇は枚挙にいとまがありません。

私たちの生活や仕事への影響も甚大です。学校では友達と思うように話すことができず、コミュニケーション不足から心を病んでしまう子がいることも耳にしました。

みんなが大なり小なり苦労を抱えるなか、私自身も心身に負担感を覚えました。一人の頑張りでは限界がありません。家族や仲間、周囲と力を合わせることで負担や不安を解消し、大きな力が生まれます。

戦争のない平和な世界、人が傷つかない世界、誰一人取り残されない世界で命を守り、明るい未来を残したいです。

野党共闘を応援したい

山本さん

【調布・書記・山本晃通信員】支部では、「組合要求実現は、大企業、富裕層への優遇、株価優先の経済政策ではなく、市民の目線に立った施策と軽んじられてきた立憲主義を取り戻すには、この点で一致するすべての政党・団体・個人が共同して、国政選挙で協力を行なう必要がある」として、政党支持の自由を守りながら野党共闘支持を合意し地域と共に取り組んできました。

そして、コロナ禍でオリ・パラを強行し、後には感染爆発と、自宅療養という名の医療放棄。これを招いたのは政治を主導するリーダーで、政治の責任と考えています。オリ・パラで投入された医師・看護師が治療に当たれば幾人の命が救えたでしょうか。

先日、横浜市長選挙では、一つの民意が示されました。マスコミが取り上げる「後任人事劇」に惑わされることなく、熟考の上、正しい1票を投じてほしいです。

主役は候補者でなく国民 意見交せる選挙に

西村さん

【日野・電工・西村滋雄通信員】選挙の主役は国民です。候補者では絶対ないのです。候補者はあくまで私たちの代弁者、代議員なのです。だから私たち投票者は受け身ではなく、能動的でなくてはいけません。

それではどんなことができるでしょうか。今の衆議院の4年間、日本でもいろいろなことがありました。3年前の北海道のブラックアウトに見える電力問題、日本各地で起きる豪雨、台風による洪水、内水災害、20～30年前から手つかずの人口・労働力問題、そしてコロナなど感染症問題。この様々な問題に、各党、候補者たちはどのように思い、意見を持っているのでしょうか。そんなこんな、身近なことを含めて、個人、団体で意見書、質問書を出してみませんか。

今年7月の都議選の時に、日野支部では3人の候補者に一人約30分の懇談会をしました。こんな時間を選挙区や東京土建主催の政党討論会ができたら本当にいいですよね。それこそ自分たちの選挙になると思うのです。

口先だけの政治家はダメ

高木さん

【日野・ブロック・高木一通信員】総選挙前に菅さんは辞任してしまい、今はコロナ対策だけを考えて進めたいと言っていた、この考えが正しいかは国民の判断だろう、途中で逃げるとか、今が瀬戸際、と選択したのではないか、オリンピックも何とか終えてもお疲れ様の声も出ない。

これから上に立つ人は半端な気持ちではできないだろう、コロナ対策でワクチン接種の推進、病院や保健所の体制強化、経済対策等々、菅さんが出来なかったことを引き受けなければならない。口先であれこれ言って行動しない人が一番、悪人だと思う。

オリパラが終わったのだから、景気回復を目指してほしい。コロナ禍で苦しむ人は少なくない。新リーダーには、政治の力を発揮し、経済情勢を回復に向かわせる「コロナ勇者」みたいになってほしい。

国会開き議論を 候補者名の連呼ウンザリ

後藤さん

【葛飾・大工・後藤英雄通信員】以前、総選挙の年は経済が落ち込むと聞いたことがあります。コロナで多くの国民が困窮しているなかで、高い関心をもって、皆さんにも投票してほしいと思います。

有事とも思えるなかで、我々が見て聞ける国会を開き、国民の代表の議員が原状回復の手段、今後の方針・施策等の議論をなぜしないのかはなはだ疑問です。飲食業を中心に倒産、廃業が増えるなか、建設業が2番目に多いということは大手ではなく我々の仲間である小零細、個人事業主に影響していると思われます。

このような状況で、またウグイス嬢による候補者名を連呼するだけの宣伝カーが走るのかと、ウンザリします。できるだけ政見放送や演説は聞くように努力し、理念や政策が近い方に投票します。最高裁裁判官の国民審査は国民主権を守るためと言われますが、何を基準とするのか、私にはわかりません。

マスコミは総裁選大騒ぎ 誰にせよ操り人形

遠藤さん

【江戸川・内装・床・遠藤喜世志通信員】パラリンピックの最中の菅総理総裁選不出馬の発表に、「せめて自分が強引に開催したオリ・パラが終わってからにしろよ」と思った。コロナ対策もやってる感だけで、有効な方針は打ち出せていない。何が「コロナ対策に専任だ」専任じゃなくて、専念だろう。

そんななかマスコミは「次期自民党総裁は」と大騒ぎしている。今のところ自民党総裁＝内閣総理大臣だ。やれ河野行革担当大臣だ、高市前総務大臣だ、岸田前政調会長だ、野田幹事長代行は推薦人を20人集められないなどと、連日ワイドショーで放送している。誰が総理になろうと、安倍元総理、麻生副大臣、二階幹事長の操り人形だ。

総選挙には野党も立候補するのだから、同じくらいワイドショーで大騒ぎをしないと、「政治的公平性がない場合は電波停止もありうる」のでは、高市さん。

詰将棋の解答

▲2二飛成△2四玉▲1四銀不成△3四玉▲4四金打△同角▲2五竜まで7手詰。